

授業科目 臨床栄養学III

【担当教員名】 山本通子	対象学年	4	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】
臨床栄養学IIIは、臨床栄養学IとII、臨床栄養学実習I、および学外での臨床栄養学臨地実習IIと続いてきた一連の科目の集大成と位置づけられる。
これまでに履修した臨床栄養学に関連する科目すべてを結びつけて理解する必要がある。
復習と統合の視点から、重点的な学習を行う。

【学習目標】
傷病者の病態や特徴に基づいて適切な栄養管理を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する考え方を理解し、これまでの諸科目での実習経験を生かして具体的な方法を身につける。個別目標は以下の通り。

- ・主要な疾病に関して、医学的視点から基本的事項を説明できる。
- ・主要な疾病の予防および治療における臨床栄養学の意義を具体的に説明できる。
- ・主要な臨床検査について、その目的や意義の説明と、結果の解釈ができる。
- ・ライフステージ別、各種疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法について習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	各学生ごとのテーマの決定（以下のいずれかの分類）		講義
2	発表（興味のある分野、または過去の学習が不十分と思われる分野を選ぶ）は順不同で行う。		講義と学生による課題発表
3	・外科的疾患、術後管理		講義と学生による課題発表
4	・胃腸疾患		講義と学生による課題発表
5	・肝、胆道、膵臓疾患		講義と学生による課題発表
6	・高脂血症、肥満		講義と学生による課題発表
7	・糖尿病、内分泌疾患		講義と学生による課題発表
8	・高血圧症		講義と学生による課題発表
9	・動脈硬化症、虚血性心疾患		講義と学生による課題発表
10	・脳血管障害、高齢者		講義と学生による課題発表
11	・呼吸器疾患		講義と学生による課題発表
12	・腎疾患		講義と学生による課題発表
13	・アレルギー疾患		講義と学生による課題発表
14	・小児科領域の疾患		講義と学生による課題発表

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	特に指定しない。			
参考書	特に指定しない			
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席状況、レポート提出、小テスト、課題の発表	【履修上の留意点】
----------------------------------	-----------

健康栄養学科
4年生